

石割山山行報告

2016.2.8

(L)三浦 (SL)加田

- ・日 程：2月7日（日）天候：晴れ後雪
- ・参加者（敬称略）：(L)三浦、(SL)加田、逸見、鈴木夫妻、宿輪、奥村、市川 計8名
- ・行 程&コースタイム：

（往路バス）新宿 BT7:40 発＝（高速バス）＝山中湖平野 BS10:13 着

（コースタイム）実働6時間15分 （注）夏道時間：4時間30分想定

山中湖平野 BS（ストレッチ体操後出発）10：30⇒10：45 石割山ハイキングコース入口
（コース違い戻る）⇒11：00 道標 11：07⇒石割山分岐 12：38⇒12：42 平尾山（1,318m
昼食）13：25⇒石割山分岐 13：30⇒14：20 石割山（1,413m）14：35⇒15：00 石割神
社 15：08⇒富士見平（分岐）15：25⇒16：09 石割の湯 16：30⇒16：45 山中湖平野 BS
（解散式）

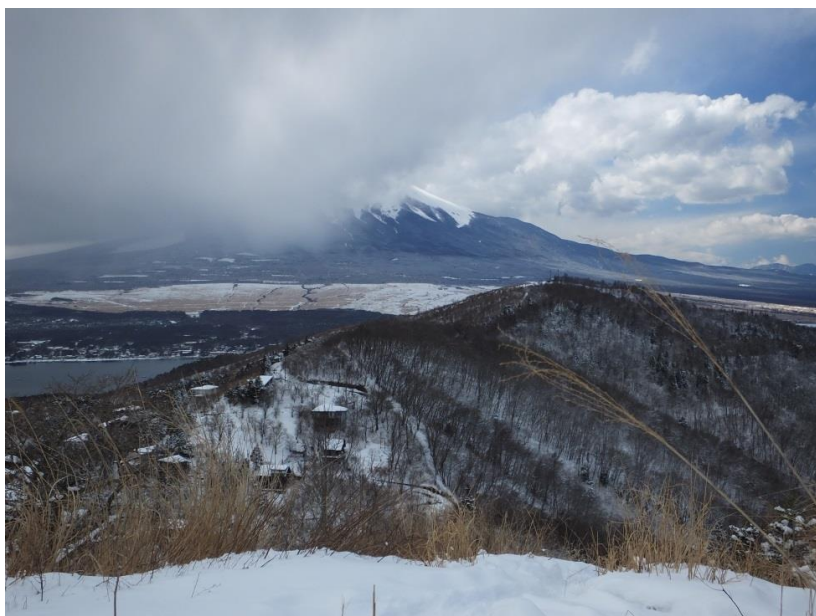
（復路バス）山中湖平野 BS17：25 発＝（高速バス）＝新宿 BT20:10 着

- ・ミニレポート

新宿高速バス T に逸見さん以下 7 人が集合、中央道三鷹で奥村さんに乗せ満席のバスは快晴のハイキング日和の中快調に走行し、上野原を過ぎたあたりから車窓からは雪景色が見えてきました。富士急ハイランドに近づくにつれ両裾野を一杯に広げ雪で真っ白な富士山の全景が素晴らしい。満席のバスも富士急ハイランド、河口湖駅でほぼわがパーティの貸切状態で平野に向かう。河口湖付近の富士山は快晴で雲もかからず、大迫力で見事でした。予定より少し遅れて終点平野に到着。トイレ、準備体操を終え、山頂からの素晴らしい眺めに期待を膨らませ出発！平尾山登山口の道標見落としなどで若干ロスがあったが、登山口でアイゼンを装着し雪の階段を登って行く。登山道の積雪はありますが先日の踏み跡が残っておりまずまず歩きやすい状態でした、たまに踏み込むと膝辺りまで沈むこともあり、樹林帯から熊笹の道と山頂に近づいていく、が山行途中から富士山が雲に隠れ気味となってしまった。予定より約 40 分遅れ平尾山山頂に到着。期待の富士山はわずかに右半分弱のお姿しか見られず。代わって富士山の右奥には南アルプス連峰が青空に白くどこまでも長く聳える！甲斐駒は美しく凜とし、北岳、間ノ岳、富士山の（日本最高峰 1～3 位）が揃い踏み。眼下には大きな山中湖。山頂には我々のほか 2,3 のパーティが食事中で、心配された風もなく穏やかな空気の中南アルプスを眺めながらの昼食これだけで今回のスノーハイクは十分堪能できました。食事後石割山へ尾根に行く。石割山山頂に着くと小雪が舞い始めました。早々に石割の湯へ向かう、途中二つに割れた巨大な岩（祭神）のある石割神社奥社に着きお参りした後、急坂を注意しながら下り東屋のある長い階段に出て、それを降りず石割の湯の標識に沿って左手へ降りていく。この道は今までの道とは違い積雪は相当あり踏み跡がなければ相当のラッセルを要しとても無理である、幸いわずか踏み跡が

残っており何とかそれを頼りに 4 時過ぎに石割の湯に着く。この時間では温泉入浴と反省会は無理と諦め、アイゼン、スパッツを外し、ザックや体の雪を払い身支度を整えとにかく平野バス停まで歩くことにした。バス停近所には期待した喫茶店もないコンビニが隣にあるのでコーヒー、ビールそれぞれ思い思いの品を買って停留所の待合室で解散式。帰途のバスも高速に入ってから渋滞もなくほぼ順調に走行し 15 分遅れで新宿に到着温泉も反省会もない山行は初めてかも？
ともあれ、曇り空、青空、降雪が混在の楽しい雪山歩きでした。

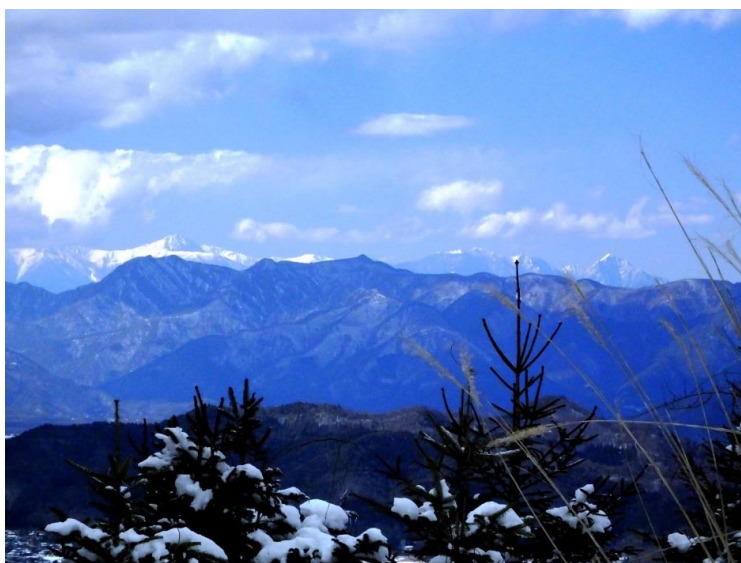
(三浦・加田 記)



平尾山からの富士山眺望



北岳眺望



平尾山からの南アルプス眺望